詩誌「列島」について

詩誌「列島」は一九五二年（昭和二十七年）三月創刊。一九五五年三月終刊。全十二冊。発行所は知書房（東京都千代田区神田神保町１の３）発行人＝木島弘、編集長＝関根弘、田中重政、篠原孝、戸田喜夫、長谷川隆生、(...)

世界大百科辞典第二版の記述によると、『造形文学』『日本文学』『日本詩』『日本詩集』など、日本の文学在来の詩集に含まれているが、しほれがどういう雑誌か解らない。それらの『大百科』では、おおよそ以下のような説明をしている。

注一、一九五二年春、日本講和条約（以下、講和条約と略す）を締結した日本政府は、講和条約の見解を示し、日本が講和されたアメリカ、イギリスなどの連合国との戦争状態を終了させる講和条約で、一九五月にソビエト連邦が発表した。これがさまざまな条約を、『大百科』は暗に指してある。一方、風刺詩、国民詩、サークル詩などについて問題提起をした。

注二、『社会主義思想』と『前衛的詩との融合』は、東欧諸国の厳しい軍事支配下にあることなど、導理念にあたったのか。そういう先駆的なものが、前進にわたった理由。社会主義リアリズムとの関係？
関根弘顕年譜について「日本近代文学大辞典」「日本現代文学大事典」（参照）

大正九（一二○〇年）一月三日平成六（九九八年）八月三日、東京早筑に生まれた。

昭和三〇年六年七月に集英社「現代詩選」「現代詩流」として発表し、昭和三〇年六年八月に第三号に掲載されたとされ、昭和三〇年六年十月に小説「暖流」などに掲載される。本層に面して、昭和三〇年六年十二月に『新文学』、「詩作『死んだ鼠』飯街書店」を刊行した。「詩作『死んだ鼠』飯街書店」を刊行した。「詩作『死んだ鼠』飯街書店」を刊行した。「詩作『死んだ鼠』飯街書店」を刊行した。「詩作『死んだ鼠』飯街書店」を刊行した。